

## 「町田市安全安心まちづくり推進計画」を改定しました

市では、「安心して生活できるまち」を目指し、2013年12月に策定した「町田市安全安心まちづくり推進計画」を改定しました。

2018年度の市民意識調査では、成果指標としている「体感治安」について、治安が良いと感じる市民の割合が増加傾向にあるなど、取り組みによる成果が出ています。

その一方で、意識調査の結果、体感治安には地域差があることが明らかになり、地域の実態に合わせた「防犯活動の支援」が求められています。また、東京2020大会開催を見据えたテロ対策や、海外からの来街者とのトラブル防止に備えて、市民一人ひとりの「防犯意識を高める」必要もあります。さらに、特殊詐欺被害の増加や子どもの安全確保に関する問題の顕在化など、治安情勢やそれを取り巻く環境変化への対応が求められています。

こうした環境変化に対応し、推進項目に取り組むことで、「安心して生活できるまち」の実現を目指します。

■ 計画名：町田市安全安心まちづくり推進計画

■ 計画期間：2020年1月～2022年3月

■ 成果指標：体感治安 53.6%(2018年度) → 57.0%(2021年度)

※体感治安とは、市が毎年実施する市民意識調査の「住まいの地域の治安」について「治安が良い」「やや治安が良い」と答えた割合

■ 推進項目

①防犯活動への支援～地域防犯力を高める～

- ・地域の実態に合わせた防犯活動の支援
- ・防犯用品の貸与
- ・協働によるパトロールの実施 など

②防犯意識の高揚～安心感を高める～

- ・特殊詐欺等の被害防止対策
- ・テロ防止対策(東京2020大会対応)
- ・海外からの来街者と来訪地域の住民の安心感を高める対策(東京2020大会対応) など

③防犯に配慮した環境整備～安心感を高める～

- ・街頭防犯カメラの設置促進・補助
- ・民間交番セーフティボックスサルビアの運営 など

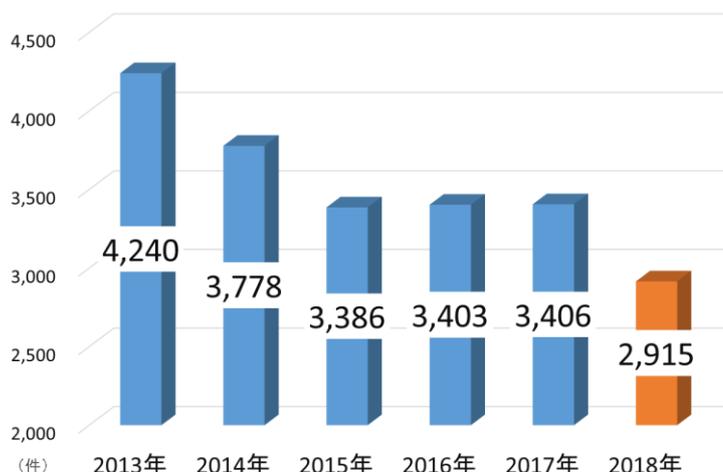


協働によるパトロールの実施

## ■ 刑法犯認知件数の推移

2013年は4,240件だった町田市内の刑法犯認知件数は、2018年には2,915件に減少しました。

2018年の1万人あたりの刑法犯認知件数は68件であり、多摩26市の平均とほぼ同じ件数です。



## ■ 体感治安

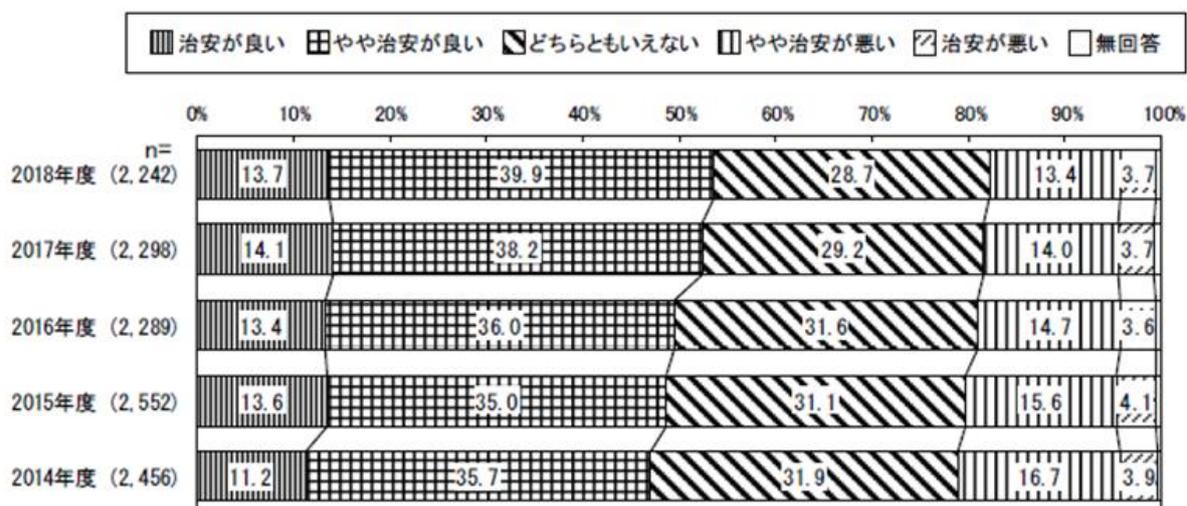
毎年実施している市民意識調査において、住まいの地域の治安が良いまたはやや治安が良いと回答した割合を「体感治安」と定義し、その数値を成果指標として設定しています。

体感治安は、2014年度は46.9%でしたが、2018年度は53.6%になり、2人に1人は治安が良いと感じています。

2018年度の市民意識調査を居住地区別で比較すると、小山田地区、町田地区、小野路地区の順に「治安が良い」「やや治安が良い」と答えた人の割合が低く、過去5年間の平均において「治安が悪い」「やや治安が悪い」と感じる人が多い地区となっています。

町田地区は、中心市街地であることから客引き等が多いことが問題になっており、体感治安が低くなっている要因と考えられます。小山田地区及び小野路地区のいわゆる北部丘陵においては、豊かな緑を抱える地域である一方、夜間の暗さや人の目が届きにくいことから、体感治安が低くなっていると考えられます。

あなたは、お住まいの地域の治安について、どのように感じていますか？  
(○印は10～1の数字に1つ)



## ■ 特殊詐欺被害数の推移

都内全域において、高齢者が対象になりやすい特殊詐欺の被害が増加しています。町田市内でも、2014年は64件でしたが、2018年は151件と、2倍以上増加しています。

	東京都内		町田市内	
	発生件数	被害額	発生件数	被害額
2014	1,447件	約54億6000万円	64件	不明
2015	1,879件	約67億3000万円	43件	約1億5000万円
2016	2,032件	約61億7000万円	60件	約1億9000万円
2017	3,510件	約79億8000万円	120件	約3億円
2018	3,913件	約84億5000万円	151件	約2億3000万円
2019(11月末)	3,512件	約69億6000万円	104件	集計中